拓桃 わかば

平成３１年３月２２日
Ｈ３０年度　１３号
発行：拓桃支援学校
022-391-6551

理想をめざし 進みゆく われら拓桃 若葉の健児

校長　跡部 久美

穏やかな陽ざしとそよ吹く風が徐々に春の訪れを感じる３月１３日，卒業生３名の前途を祝し，保護者の方々や宮城県立こども病院理事長・院長今泉益栄様をはじめたくさんの御来賓の皆様の見守る中で第４７回卒業式が挙行されました。卒業生は一人一人，校長としっかり目を合わせ，立派に証書を受け取り，卒業生としての晴れやかな喜びと少しの緊張，そして力強い決意がその目差しから感じられました。また，学び舎を去って行く寂しさと希望を持って旅立つ喜びをかみしめて「答辞」や「旅立ちの日に」を歌っている卒業生の表情に涙する保護者方々の光景にも胸が熱くなりました。


答辞を述べる卒業生

卒業生からの答辞の一部分です。

「在校生のみなさんと共に過ごした日々はかけがえのない思い出です。皆さんに伝えたいことは『自分も相手も大切にすること』私たちは，治療を乗り越えていく仲間であり，共に励まし合い，語り合い，時にぶつかり合いながらも，自分も大切にして拓桃で過ごす時間を有意義なものにしていってください。」と卒業生自身の経験から得た在校生への熱いメッセージでした。

その在校生の児童生徒たちも，本当に卒業式にふさわしい立派な態度で臨んでいました。在校生代表の送辞では「曲がり角を曲がった先に，何があるのかは分からないの。でも，きっと一番良いものに違いないと思うの。それにはまた，それの素敵で良いところがあると思うわ。」と小説の一文を引用し，これからの新たな人生の船出にこぎ出す卒業生に大きなエールを送りました。また，在校生からの心のこもったメッセージや絵の飾り付け等々を卒業生は，しっかり受けとめてくれたはずです。ありがとうございました。







さて，本日をもって今年度の１年間の課程が修了しました。それぞれ拓桃で学んだ期間は様々ですが，この１年間を振り返ると色々なことがあったと思います。頑張ったこと，十分に力が発揮できなかったこと，うれしかったことやつらかったこと，楽しかったことや悩んだことなど，その一つ一つの経験が少しずつ自分の成長につながっています。自分の成長を支え，助けてくれた仲間，家族，病院の方々，先生方とたくさんの人たちがいた，ということをしっかりと心に留め，次へのステップへと進んでほしいと願っています。

保護者，病院のスタッフ，地域の皆様にはこの１年間，本校の教育活動にご理解とご協力をいただき，感謝しております。行き届かないところも多々あったと思いますが，皆様の支えとお力添えがあったからこそ，本校の教育活動を推し進めることができました。これからも本校は，こども病院のスタッフの方々の御支援・御協力をいただきながら，力を合わせ肢体不自由教育と病弱教育の併置の支援学校として子供たちを支えていきたいと思います。誠にありがとうございました。

各学年のコーナー

～１年間を通して，学年ごとの学習の様子を順次お伝えします

３月１日（金）６校時に，中学部の予餞会がありました。今年は，卒業生が ３ 人，在校生に卒業を祝ってもらいました。







在校生が，卒業生に心のこもった色紙と記念品を渡しました。お互いに，これまでを振り返りながら，感謝の気持ち，前向きに進もうとする気持ちを伝え合うことができました。







4月　行事予定

月	火	水	木	金	土	日
１ 学年始休業日	２	３	４	５	６	７
８ 披露式 始業式	９ 入学式 幼教育相談 ～１９	１０ 中対面式	１１ 中２３ 実力考査	１２ 小1 年生を迎える会	１３	１４
１５ 小ピーチタイム	１６	１７	１８ 小６中３ 全国学力・学習状況調査	１９ 授業参観日 保護者全体会	２０	２１
２２	２３	２４ 中３修学旅行 小１中１ 循環器検診	２５ 中３修学旅行	２６ 中３修学旅行 小ピーチタイム	２７	２８
２９ 昭和の日	３０ 退位の日					